

第4回焼津市子ども・子育て会議 議事録

※会議録作成にあたっての留意事項

- ①本会議録は、会議要旨の概要報告として作成したもので、委員各位の意見及びそれに対する事務局の説明については、省略されている箇所もある。また、事務局の議案説明は省略している。
- ②委員の意見または事務局の説明にある（ ）書きは、意見または説明内容が理解しやすくなるための配慮で、記録者が書き加えたものである。

<以下本文>

1 日 時 平成26年 6月26日(木) 13時30分～15時00分

2 場 所 焼津市役所会議室棟 101号室

3 出 席 (委員)

山田美津子会長、鈴木敦子委員、村松幹子委員、吉田一夫委員、
長谷川なおみ委員、高橋律子委員、石川真委員、森川和弘委員、
鈴木麻里奈委員、前田陽子委員、本橋孝洋委員、一ノ瀬直也委員
片野千鶴委員

(事務局)

青島こども未来部長

子育て支援課：見原課長、渡辺次世代育成担当主幹、石川家庭児童相談室長、
杉山給付担当係長、高田次世代育成担当主任主事、
池谷次世代育成担当主事

こども育成課：岡村課長、塚本主席指導主事、鈴木保育・幼稚園担当係長、
中村指導主事、

4 内 容

次 第

(1) 開 会

(2) 会長あいさつ

(3) 議 事

①子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」補正結果について

②子ども・子育て支援事業計画の骨子案について

③今後の審議スケジュールについて

(4) 閉 会

〔議事録〕

<p>子育て支援課長</p>	<p>本日はたいへんお忙しい中、第4回焼津市子ども・子育て会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本日の進行を務めさせていただきます子育て支援課長の見原と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>これからの会議の進行は、山田会長にお願いいたします。</p> <p>山田会長、よろしくお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、議事に入らせていただきます。</p> <p>最初に、子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」について事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>(説明) 子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」補正結果について説明する。</p>
<p>会長</p>	<p>事務局のご説明に関して、委員の皆様、何かご質問・ご意見はございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>今は面倒をみてもらえていても今後はどうなるかわかりません。面倒をみてもらえているから大丈夫、ではなくて、小1ギャップと言われるように、逆の見方が必要ではないでしょうか。放課後児童クラブは待機児童がないが、これで満足とは思いません。外国に比べてとても狭いところに押し込まれていて、入りたい人はまだいると思います。この補正結果をみると夢がないので、焼津の未来を考えて数値を出すべきではないですか。</p>
<p>会長</p>	<p>スウェーデンやデンマークを見てきましたが、両親が働いているのが普通の状態の国です。放課後児童クラブのハード面は考えたほうがよいと思います。前回の会議では、祖父母は孫の面倒をみるよりも自分のことをしたい人が増えているという意見がありましたね。</p>
<p>委員</p>	<p>計画は数字を達成することが目的になると思いますが質の面は忘れがちです。量が多いか少ないかはわかりませんが、病児保育は子どもの立場に立てば、0にするということもあり得るのではないですか。</p>
<p>委員</p>	<p>劣悪な環境のように思われている放課後児童クラブですが、一人ひとりの個性を尊重する指導に変わってきており、スペースが十分なところもあります。小1の壁は焼津でもありますか。学童に入れなから仕事をやめる人がいるとは思えません。</p>
<p>事務局</p>	<p>教育・保育事業と地域子ども・子育て支援事業、2つの事業でどのくらいの必要量があるか、それに向けてどう確保するかという仕立てになります。子ども・子育ての大枠は総合計画によりますが、理念的</p>

	な部分はまだ議論できていません。放課後児童クラブは保護者の就労を条件としています。事情に応じて高学年の子も受け入れており、今までにお断りしたケースはないと考えています。
委員	ファミリー・サポート・センターの必要量が減るという説明がありましたが、赤ちゃんのお風呂の入れ方がわからないから来てほしい、転勤族で誰にも頼れないから来てほしい、という依頼が静岡市ではあります。使い方をPRすれば縮小する必要はないと思います。
事務局	ファミリー・サポート・センターは、国の算出方法に基づく必要量が0になります。しかし、実績値があるので、実績値に基づく計画値としています。子育て家庭教師的な事業の中身については、今後の計画の骨子の中でもご意見いただければと思います。
委員	支援が必要な子のための放課後児童クラブも必要になると思います。
事務局	障害児に対応したクラブがあります。学校、放課後児童クラブとも相談して個々に対応しています。色々な部署が連携して対応していくことが大事だと考えます。
委員	児童館が旧大井川にしかありません。放課後児童クラブでなくてもよいので、放課後児童クラブの対象外の子でも行ける児童館を作る気はありませんか。
事務局	児童の担当としては児童館が市内中心部にもあるとよいと思います。しかし、人口が減り施設が老朽化していく中で施設の在り方を考えないといけません。放課後児童教室も含めて、子どもの居場所づくりは課題になっています。なお、市長の議会答弁では、児童館は作らないという答弁になっています。
委員	教育ニーズは 2,915 人と理解しました。幼稚園 13 園で対応可能な数です。
事務局	2,562 人が現状の数字です。2号認定は、教育ニーズと保育ニーズに分かれますが、実態の把握は難しい状況です。
会長	2号認定の教育ニーズの実績値がわかるとよいのですが。
事務局	これは実績がありません。そのため、2号認定に該当する人の合計値だけを掲載しています。
会長	幼稚園は定員割れが続いているというイメージがあるのですが、これだと幼稚園に行く人が増えてしまうのではないですか。
事務局	3歳以上は教育か保育かどちらかを使うので、推計人口とほぼ同じになっています。あとは2号認定者の振り分けになりますが、すべてが保育所に行かれるわけではないので、今回の数字にしてあります。

会長	それでは、子ども・子育て支援事業計画骨子案について事務局から説明をお願いします。
事務局	(説明) 子ども・子育て支援事業計画骨子案について説明する。
会長	事務局の子ども・子育て支援事業計画骨子案の説明に関して、委員の皆様、何かご質問・ご意見はございますか。
事務局	事業の中身についてご意見をお持ちの方もいると思いますので、今後たたき台を検討する中でご議論いただければと思います。
会長	それでは、今後の審議スケジュールについて事務局から説明をお願いします。
事務局	(説明) 今後の審議スケジュールについて説明する。
会長	事務局の今後の審議スケジュールの説明に関して、委員の皆様、何かご質問・ご意見はございますか。
会長	それでは、全体を通していかがでしょうか。
委員	各保育園から、私たちはどうしたらよいか、認定こども園になればよいか、そのままよいか、と聞かれるがうまく答えることができません。幼稚園はどうですか。
委員	公定価格が示されていますが、理解できない面があるほか、現状の補助金との絡みをみたりする必要もあり、私立幼稚園協会としては今年度中の判断は難しいと考えています。廃園が1園、認定こども園が3園など予定はありますが、2号の教育ニーズをどう取り入れていくかが重要だと考えています。
委員	保育園も教育をしっかりやっているのだから、どう発信して説明していくかが大事だと考えています。今は質の部分をもっと市民に理解してもらう活動が幼稚園も保育園も大事だと思います。
会長	次回の会議で確保方策が示されると話が進むかもしれませんね。他にご意見がないようでしたら、これにて議事は終了させていただきます。皆様、会議の進行へのご協力ありがとうございました。
事務局	山田会長、ありがとうございました。委員の皆様につきましてもたくさんのご意見をいただきましてありがとうございました。本日の議事録につきましては焼津市のHPで公開させていただきます。改めまして次回以降のスケジュールをお知らせします。第5回は7月30日(水)13:30から、第6回は8月27日(水)13:30から、市役所本館6階603号室となります。それでは、以上をもちまして本日の子ども・子育て会議を終了いたします。どうもありがとうございました。

